

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設 14

施設名	山梨県立男女共同参画推進センター(富士)	所管課	県民生活部 県民生活総務課
所在地	都留市中央3-9-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成2年12月25日
管理方式	公益財団法人やまなし文化学習協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 3,853.59㎡ ○建築面積 1,124.65㎡ ○延床面積 2,340.40㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造り、地上3階建て ○施設の内容 ・1階 団体連絡室(定員:50人)、視聴覚・音楽室(定員:70人)、交流コーナー、託児室、相談室、保健室、事務室 ・2階 工芸・美術室(定員:40人)、調理実習室(定員:40人)、茶華道室(定員:40人)、レクリエーション室(定員:40人)、図書室(定員:16人) ・3階 大研修室(定員:250人)、小研修室(定員:45人)		
主な業務内容	(1) 利用の承認に関する業務 (2) 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3) 男女共同参画に関する学習機会と交流の場の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 都留市うぐいすホール (2) 都留市まちづくり交流センター
---------------------	--------------------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	入館者数	44,600	39,631	11,751	44,600
	事業参加者数	13,360	12,532	2,956	13,400
	利用者数合計	57,960	52,163	14,707	58,000
	目標値	60,000	58,000	58,000	58,000
	目標値設定の考え方及びその理由				
	対平成30年度比		90.0%	25.4%	100.1%
利用率		35.6%	32.3%	16.9%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		令和元年度	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	3,432,990	3,690,000	1,554,680	2,157,000
	指定管理者委託料	29,712,326	30,142,000	31,373,107	32,388,000
	その他	2,778,847	3,693,000	2,351,687	2,859,000
	収入合計(A)	35,924,163	37,525,000	35,279,474	37,404,000
支出	人件費	15,454,886	17,253,000	16,620,088	17,183,000
	県への納付金				
	管理運営費	19,697,559	20,272,000	18,115,402	20,221,000
	うち外部委託費(B)	6,082,993	5,500,000	6,209,940	6,100,000
	支出合計(C)	35,152,445	37,525,000	34,735,490	37,404,000
収支差額(A-C)		771,718		543,984	
外部委託比率(B÷C)		17.3%	14.7%	17.9%	16.3%
利用者一人当たりの経費		569.6	519.7	2,049.5	558.4

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和2年4月～令和3年3月 実施方法: 施設利用者へのアンケート 回答数: 491人(利用者アンケート: 201人、事業アンケート: 290人)
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備の充実度	81.0%	16.5%	1.5%	1.0%
施設・設備の整備状態	80.5%	18.0%	1.0%	0.5%
サービスの内容	87.1%	12.9%		
事業	90.0%	8.6%	1.4%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止のため、平素大変なご苦勞をされている事に感謝いたします。 ・ほかの市町村では調理室の利用がコロナウィルスの影響で使えなくて困っていましたが、こちらで貸していただくことが出来、大変助かっております。 ・感染拡大予防ガイドラインの見直しをお願いしたい。元の定員の半分を希望。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段学ぶことが出来ない事について学ぶことが出来、非常に有意義だった。(DV防止啓発講座) ・シリーズ講座のため回を重ねて知識を深めることが出来た。単発の講座時間では、なかなか出来なかったと思う、初めの不安な気持ちが何度か参加する間になくなり、連帯感から生まれるプラスの関係もあり、非常に素晴らしい講座でした。(女性のための起業スタートアップセミナー)
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在定員の三分之一で運営しているが、今後の状況により見直しを図っていく。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も社会の動向等をふまえ、県民ニーズに応える事業を実施していく。

6 評価結果

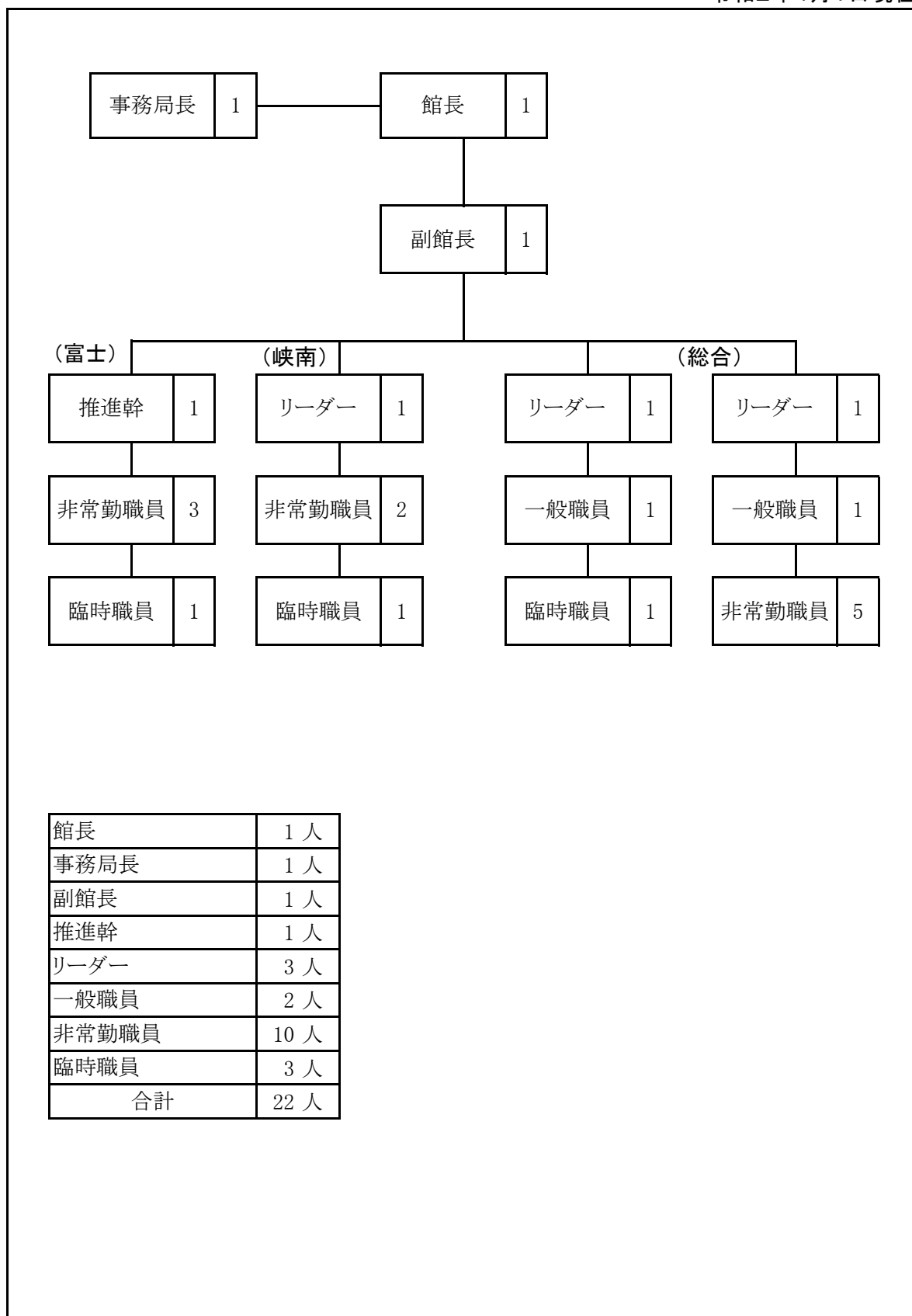
	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令、業務計画に基づき、施設の適正な管理・運営に努めた。利用者からの要望や館内点検により設備等の不具合が判明した際は、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については、県に報告した。</p> <p>頻発する自然災害に備えて、新たに「台風等の風水害に関する対応マニュアル」を策定するとともに、実際の災害に適切に対応できるよう、職員研修や大規模災害を想定した防災訓練、消防訓練を実施した。また、施設内の避難誘導路の点検を実施した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に対しては、感染拡大予防ガイドラインを定めてホームページや窓口において利用者に注意喚起を行うとともに、消毒液、体温計等の感染防止物品を貸し出すなどの対策を講じ、県民が安心して利用できる環境を整えた。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、施設の維持管理業務が適切に実施されている。</p> <p>引き続き、利用者の安全確保のため、避難経路の環境整備を図るとともに、内容を重視した実践的な防災訓練や、あらゆる場面を想定した防犯体制の強化に努めること。</p>
運営業務	<p>設置及び管理条例、施設利用及び利用料金に関する事務取扱要綱、業務計画書に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>企画事業については、各市町村の男女共同参画推進員が体系的に学習できる講座を組み立てるなど、地域の人材育成に重点的に取り組むとともに、テーマについても、男女共同参画の実践に繋がる「防災」など身近なものを積極的に取り入れた。事業の質の向上を図るため、事業の定員の充足率や、アンケートでの評価などを基準として、講座ごとに5段階で自己評価し、その結果に基づき改善を行うPDCAサイクルの仕組みを導入した。</p> <p>また、withコロナの時代をふまえ、施設のインターネット環境を整備し、Zoomを利用した遠隔講座を実施し、新たな学習機会を提供した。</p> <p>さらに、効果的・効率的な運営を行うため、職員からの業務改善提案制度を導入するとともに、職員の働き方改革を推進するための就業規則の改訂やハラスメント規定の整備等を行った。</p>	<p>業務計画書等に基づき適正に執行されている。</p> <p>企画事業については、地域における男女共同参画の推進の重要拠点として、県民や市町村の取組を支援するほか、女性の活躍推進などの社会状況を踏まえた事業や、防災における男女共同参画など様々な課題解決に向けた実践的な活動を積極的に実施している。</p> <p>引き続き、それぞれの地域のニーズを踏まえながら、市町村や地域で活動する団体、管内の大学等と連携し、地域における様々な課題解決に向けた実践的な事業展開を進めることや、新たなニーズの把握に努めること。</p>

<p>利用状況</p>	<p>利用者数については、毎月の実績を基に要因分析を行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、閉館や定員の削減などの利用制限、事業の中止などの措置を講じたことにより大きく減少した。</p> <p>閉館措置解除後も各室の定員を3分の1に抑える等の措置を講じざるを得ず、あわせて器楽合奏等、これまで定期的に利用があった団体についても活動を自粛、制限いただいたことも利用者減の要因となった。</p> <p>事業参加者数についても同様に感染拡大の影響を受けた。特に講師を地域に派遣する出前講座事業やアウトリーチ事業では、学校や管内自治体から例年通りの実施を危惧する声が多く、当初の予定回数を実施することが困難となった。</p>	<p>利用者数は前年度より減少し、目標値を下回った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館措置や講座の中止による影響が大きかったためやむを得ないが、センターの利用者増に取り組むとともに、若年層に事業への参加を促すため、今後も魅力的な事業の企画やPRの手法、SNSの発信時期など、効果的な方法を検討すること。</p>
<p>収支状況</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により行った約2か月間の閉館措置が影響し、施設利用収入は前年度比:45.3%と大きく減少した。</p> <p>支出についても新型コロナウイルスの影響は大きく、講座配信用PCファイアウォール・ルータなど安全な事業開催を担保するための物品購入費が大きな負担となった。</p> <p>パソコンのリース切り替えがあったこともあり、支払手数料が増えた。</p> <p>光熱水費は利用者の減少に伴い減少した。</p> <p>非常勤嘱託職員が欠員していた時期もあり、収支の差額として、50万円余が黒字となったが、中長期的、計画的に解消していく。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館措置による施設利用料収入の減はやむを得ない。50万円の黒字については男女共同参画の推進に資する方法での解消に努めていただきたい。</p>
<p>自主事業</p>	<p>例年、地域の男女共同参画拠点である施設を多くの県民が認知し、親しみをもっていただくことを目的として親しみやすい親子で学べる講座等を実施してきたが、夏期に施設周辺地域において感染クラスターが発生したことから、万難を排するため自主事業の開催は中止とした。</p>	<p>自主事業は、センターの周知と、参加者を男女共同参画関連事業への参加につなげていく事業でもあるため、コロナ禍においても実施が可能な工夫をした事業の企画・実施に努めていただきたい。</p>

<p>利用者満足度</p>	<p>施設利用者の満足度は97%の方が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しており、また事業満足度については98.6%の参加者が同様に回答しており高い評価をいただいた。 施設に対する「不満」「どちらかといえば不満」の回答については指摘事項に応じて可能な限り速やかに対応した。 今後も利用者の声を適切な施設管理と事業運営に活かす運営に努めていく。</p>	<p>利用者満足度はいずれの項目も高い評価を得ている。 引き続き利用者ニーズの把握に努め、施設の維持管理を適切に行い、利用者にとって快適な環境を提供するとともに、企画事業の充実などにより更なる向上に努めること。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、業務計画書等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。 利用者の要望や館内点検の結果により、施設・設備の不具合箇所が見つかった6件については、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については県に報告した。 利用者数の確保に向け、新型コロナウイルスの感染拡大の中、オンライン講座の開催や業界ガイドラインに沿った運営など、なるべく多くの方に参加いただけるよう工夫した取り組みを行ったが、閉館や定員の削減などの利用制限、事業の中止などの措置を講じたことにより、目標値に対して、25.4%であった。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理について、協定及び業務計画書に基づき概ね適正に執行されている。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためガイドラインを策定し、感染防止にも取り組み、利用者の安全の確保に努めた。 オンライン講座のための機器を導入したため、十分に活用し、コロナ禍においても多くの人に受講してもらえよう、積極的なPRをするなどの取り組みが必要である。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大のため利用者は減少したが、男女共同参画の推進拠点として、地域で活動する団体や教育機関等と連携し、子育て支援講座、女性の活躍推進やDV防止の出前講座など課題解決のための実践的な事業実施に努めた。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



館長	1人
事務局長	1人
副館長	1人
推進幹	1人
リーダー	3人
一般職員	2人
非常勤職員	10人
臨時職員	3人
合計	22人